



第21号
発行日：令和4年9月
川島地区社会福祉協議会
地区社協だより編集委員



川島地区社協だより

社協の各事業には、社協会費が使われています

生き生きお楽しみ事業の実施をめざして

会長 水野健次



この度会長の役を仰せつかりました水野です。不慣れですが、皆さんのご協力をいただきながら務めていきたいと思います。よろしくお願いします。

本会は3年前に「交流と心身の健康」を主眼とする新しい目標を定め、それに向かってスタートしました。しかし、間もなく、未だに続くコロナウイルス感染症により、事業にもいろいろ支障がでてきました。

そんな中で、昨年、コミュニティー会議が行われ、コロナ禍でもできる行事について話し合われました。結果「生き生きお楽しみ事業」を開催してはどうかとの意見が出ました。具体的にはこれから考えていくこととなりますが、今年度新しく「スマートフォン講座」を企画してみました。これからの時代に高齢者もスマホに馴れるのもいいかなと思います。

更に今年に入って起きた「ロシアによるウクライナ侵攻」は世界の緊張を生み、コロナとともに私達の生活や経済等に大きな影響を与えています。コロナもウクライナ戦争も早く終わって人びとが交流し、元気で暮らせる生活が戻って来てほしいと願うところです。

◆川島大橋から300m下流にかかる仮橋

ボランティアを募集

本会では「ボランティアハウス」のボランティアを募集します。ボランティアに関心のある方、少しでもお手伝いしてみたいとお思っている方、ぜひ、ご協力ください。

ボランティアハウスとは高齢者、子育て者等が閉じこもりにならないよう交流することを目的に、手足を動かしたり、おしゃべりしたりする集まりの場です。



◆ほほえみの会(小網)

現在川島地区では5地区で活動されていますが、まだ松原町等一部の地区では実施されていません。立上げ、運営のお手伝いいただけるボランティアを募集します。月1回開催の場合で1回につき3千円が市社協から助成され、これで運営していきます。

また、これまで1拠点(自治会)に1つのボランティアハウスという制限でしたが、今年度から助成金対象が3グループまでに拡大されました。他地区でハウスを実施したいと思われる方は、現ハウスの方と調整してご参加ください。(連絡先)

小島 0586-89-2907
川瀬 0586-89-4097
脇田 080-5114-1466

前ページより

事業・予算決まる

活動が上手くいっているように思います。皆さんのお骨折りにより、ハウスが益々活発になり、増えていく事を願います。

司会 コロナで閉じこもりになり、会話する機会が減っている中で、人々の我慢も限度に達しているようです。

市社協助成の対象が拡大されたこの機会に、各地区でお骨折りができる方が増え、そしてハウスが増えていくことを願いたいと思います。今日はありがとうございました。

小網、松倉のハウスは都合により出席できませんでした。

近隣ケアの基礎を学ぶ

7月12日(火)川島ライフデザインセンターで「近隣ケアグループ研修」を開催しました。

今年度から新しくグループ員になった方もおられることより、近隣ケア活動の趣旨や活動の仕方、他地区の実態などを市社協職員、の野村聡さんから学びました。

本年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の関係上、昨年度に引き続いて書面で行いました。結果、事業計画、予算等が原案通り承認されました。

主な事業は高齢者初心者への「スマホ講習」のほか恒例の「古希・一人暮らし高齢者・介護者の集い」、「一人暮らし高齢者配食サービス」、「近隣ケア研修」などです。

予算は合計1百99万7千円。収入のほとんどは皆さんの会費がもととなる市社協交付金、メニュー事業助成金と繰越金です。また決算は別記のとおりです。

令和4年度事業計画

月	事業
6月	役員会 総会(書面) 近隣ケア研修 地区社協だより発行
7月	福祉座談会 スマホ講習会
8月	ふれあい事業
9月	ボランティア研修
10月	古希名簿調査
11月	配食サービス
12月	古希・一人暮らし高齢者の集い
3月	地区社協だより発行 役員会

令和3年度決算

科目	金額
地区交付金	450,000
メニュー事業助成金	479,900
地区運営費助成金	30,000
寄付金	0
雑収入	7
繰越金	658,065
合計	1,617,972

科目	金額
事務費	32,749
近隣ケア研修	0
福祉座談会	5,281
ボランティアハウス事業	255,000
ふれあい交流事業	0
機関紙発行	131,000
赤い羽根共同募金	149,435
食を通じた支援事業	95,000
フェスティバル	0
助成金支出	107,000
合計	775,465

令和4年度予算

科目	金額
地区交付金	430,000
メニュー事業助成金	693,000
地区運営費助成金	30,000
寄付金	1,000
雑収入	493
繰越金	842,507
合計	1,997,000

科目	金額
事務費	58,000
近隣ケア研修	30,000
福祉座談会	6,000
ボランティアハウス事業	324,000
ふれあい交流事業	100,000
機関紙発行	160,000
赤い羽根共同募金	250,000
食を通じた支援事業	115,000
福祉の人材発掘事業	25,000
フェスティバル	20,000
助成金支出	127,000
予備費	782,000
合計	1,997,000

令和4年度役員(敬称略)

- 会長 水野健次
- 副会長 小島豊彦
- 理事 小島祥司
- 中野正勝
- 田中佳彦
- 野田吉和
- 青井秀樹
- 脇田美千広
- 川瀬智美
- 川瀬生身
- 小島豊彦

評議員

- 安藤順司
- 原基久
- 杉本直子
- 尾関とし子
- 松尾勇夫
- 伊藤和夫
- 脇田芳弘
- 水野三郎
- 足立美涼
- 野田眞澄
- 田中正明
- 中園久義
- 水野香織
- 平野笑子
- 小野親夫
- 荻谷啓子
- 大山貢
- 小島きよ子
- 横濱勝治
- 湯下英信
- 菊池旭

ボランティアハウスの座談会

6月30日



会長 水野健次さん

司会 小島豊彦さん

司会 今日はボランティアハウス(以下ハウスという。)活動という事で話し合いをしたいと思えます。ハウスは引きこもりを防ぐ目的の交流の場としての位置づけですが、皆さんのハウスはどんなきつかけでできましたか。

ハウスの立ち上げ

横浜 私は、他の麻雀の会に入ったのですが、渡地区にあるボランティアハウスが麻雀をしているというところを渡の人に聞いて新しくハウスを立ち上げました。

大山 私は、川島会館で介護予防のデイサービスが行われていた時、折り紙の指導を依頼されました。

デイの皆さんが、できた作品を見てとても喜んでおられ、教えるのが楽しいと思ったからハウスを立ち上げました。

楽しいことがセールスポイント

司会 どんな活動をしていきますか。また皆さんのハウスのセールスポイントは？

横浜 活動内容は麻雀を打つことですが、午前だけ、午後だけ、一日中参加する人まちまちで、不平不満なく全員が楽しんでいて、それが自慢です。

川瀬 簡単な体操や折り紙。手先を動かしながらの雑談は認知症予防になると喜ばれています。

大山 しめ縄や団扇づくり、折り紙、カラオケなどです。年末のしめ縄では80人、ハウスの年間の参加者は3百人を超えます。親子での参加も多く、教えるボランティアも喜んで教えています。セールスポイントは活動全部です。

友達が増えてよかった

司会 子供も多数参加というのですが、いいですね。川島では子供会がなくなり、私の地区の子供クラブも最近消えてしまったところですが、子どもが多く参加する要因は？

大山 笠田では日曜日にハウスを行います。子供が参加できるのは日曜日ですね。団扇づくりでは、自分の写真を団扇に入れるのです。世界でたった一つしかないオリジナル団扇なので大変喜ばれます。

横浜 友達が増えたこと、楽しみが増えたこと、それに暇だった時間が活用できるようになりました。町の中で会った時は声掛け、雑談もするようになり



◆座談会の様子

ボランティアハウスの

普及を考える



会長 水野健次さん

司会 小島豊彦さん

横浜 勝治さん

川瀬 皆さんと交流ができたことです。同じ地区に住んでいてもあまり話をしたことがなかった人とも会話をするようにになりました。

司会 正にハウスの目的とするところですね。では困っていることや悩みはありますか。

横浜 当初、ハウス開催のたび麻雀卓をリーダー宅と会場との間を持ち運びしなければならなくて、少し困りました。それから麻雀は1卓4人で行うものなので、人数が揃わない場合、その人達は暫くの間できないことが残念です。

川瀬 私のところは特にないです。

司会 この座談会の記事を読んでハウスに入りたい

という人がいましたら受入れはどうですか。

大山 玄関のところにハウスの旗が立っていれば開催中ということ。どなたでも受け入れていきます。

川瀬 保険の関係上、登録が必要ですが、あとからの登録でも良いので、どなたでも入れるのですね。

横浜 麻雀卓の数量(今は少ない)に限られているので暫く待つてほしいです。

普及の鍵は世話人探し

司会 今年度からハウスの立上げ条件が少し変わりました。今まで1地域に1つのハウスしかできなかったのですが、3つまで可能となりました。具体的に言うとうと渡公民館で「笑顔」が活動していますが、

新しいハウスが2つできて渡公民館で活動しても助成金の対象ですよということ。ハウスをもっと普及させていくには何がポイントになると思いますか。

川瀬 やはり中心になって骨折っていただける人を探すことだと思います。大山さんのような人を見つけていくことです。

大山 指導者について思うのですが、指導する人が鼻が高いと参加者は来なくなり、下手な人でも作業が遅い人でもいいところがあったらほめてあげる。と相手はニコツとします。私どものハウスでは皆その点は注意して教えるようにしています。

横浜 ハウスでどんなことができるか、どんなことに興味があるのか、内容を

勉強したりすることで。特技のある方に協力してもらおうのも良いかと思えます。

河田地区でカラオケが得意な人が検討している人もみえます。でも集まってもらえるかが不安でなかなか進まないようです。

水野 松原でも過去色々な話し合いが行われたようですが、結果的に骨折っていただけの人が現れるかの点になってくると思えます。

司会 会長さん、皆さんのお話を聞いて感想はいかがでしょう。

水野 私は会長になるまでは社協のことをあまり知りませんでした。今、いろいろなお話が出ました。友達が増えたとか、今まで話したことがない人や知らなかった人達と友達になれたという話を聞いて、